

巻 頭 言

第5回「人と環境にやさしい交通をめざす全国大会」が岡山大学津島キャンパスを会場として、開催されることとなりました。第5回大会に全国各地から参加される皆様方に、開催地と岡山大学を代表して、心より歓迎と感謝の意を表します。

今回の全国大会開催地である岡山市は人口約70万人を有し、2009年4月に全国で18番目となる政令指定都市に昇格しました。岡山市は、美観地区や大原美術館で有名な倉敷市と隣接しており、岡山市と倉敷市を合わせた都市圏人口は150万人規模となります。岡山市の歴史は、宇喜多秀家が1590年に岡山城の新規築城と城下町整備に着手したことに始まり、その後、小早川秀秋、池田家の治世を経て明治維新に至りました。岡山城に隣接する後樂園は日本三名園の1つであり、池田家家臣であった津田永忠の手により1700年に完成しました。津田永忠は、後樂園以外にも、国宝の閑谷学校建設、旭川の放水路である百間川開鑿、岡山市南部の新田開発などに携わりました。津田永忠が遺した史跡は優れた農業・土木遺産群であり、世界遺産に登録してその業績を顕彰する動きが続いています。

岡山市は、瀬戸内の温暖で乾燥した気候帯に属しており、晴天率が高いことから「晴れの国岡山」とも称されています。また、中国・四国における鉄道及び高速道路のクロスポイントに位置することから交通利便性に優れ、高速道路を利用した2時間圏の人口は1600万人以上に達します。しかし、市内を見ると、他の地方都市と同様に、モータリゼーションの進展に伴って、公共交通の衰退、市街地スプロールによる都市環境の悪化、中心市街地空洞化などの問題が深刻化しています。岡山市では、このような都市問題に対処するために、1990年初めから経済界や市民が主導した交通まちづくりの提案が続きました。特に、1994年に岡山商工会議所が発表した「人と緑の都心1kmスクエア構想」や1995年に結成された「路面電車と都市の未来を考える会(RACDA)」による公共交通活性化の運動は、全国的に注目を集めました。また、岡山市もこれらの動きを受けて、2000年に「路面電車延伸構想」を策定し、翌年2月に路面電車延伸を想定した「市役所筋交通社会実験」を実施しました。その後、都心部での路面電車延伸に加えて、「JR吉備線LRT化構想」も浮上していますが、その後の実現に向けた動きは遅れています。

一方、最近のわが国では、地域住民の移動権を保障するという観点から、公共交通の維持・活性化が喫緊の政策課題となっており、「交通基本法」制定と関連施策の充実が議論されています。また、環境面では、2020年を目途とする温室効果ガスの1990年比25%削減が公約され、運輸部門における大幅なCO₂排出削減と都市・地域の低炭素化が急務となっています。このような流れを受けて、全国各地では、LRT導入構想、自転車交通の見直し、電気自動車の開発促進など、単に公共交通を見直す動きから「公共の交通」を問い直す動きへの転換が起こりつつあります。今回の第5回全国大会では、全国の関係者がいま一度岡山の地に参集し、活発な議論や提言を通じて、2010年代に向けた「人と環境にやさしい交通」の新たな動きを加速する契機となることを期待しています。

岡山大学大学院環境学研究科教授 阿部 宏史

(「人と環境にやさしい交通をめざす全国大会 in 岡山」実行委員長)

第5回岡山

目 次

各分野の報告・提言

1. 新たな技術を考える

102教室、座長：出町 敦、副座長：大野寛之

No	件 名	発 表 者	ページ	発表時刻
1	満員電車をなくすための運行・運賃・制度のイノベーション	(株)ライトレール 阿部 等	1	原則 10:00 12:30 1件当り 質疑応答 を含め 約15分 詳細は 座長一任
2	環境にやさしいLRT芝生軌道の改良について	人と環境にやさしい交通をめざす協議会 大野寛一	3	
3	バスをベースとした新しいバイモダル交通システム	(独)交通安全環境研究所 大野寛之、林田守正、佐藤安弘、長谷川智紀	5	
4	LRT導入効果予測のための交通シミュレータの開発	(独)交通安全環境研究所 工藤 希、水間 毅	7	
5	LRV・バス共用走行「複合交通システム」 既存鉄道の無い地区への適用検討例	(財)鉄道総合技術研究所 前橋 栄一、藤原浩史、小笠正道	9	
6	セルフサービスの運賃収受	(財)鉄道総合技術研究所 明星秀一	11	
7	ゴムタイヤ式LRT“トランスロール”の新技術動向	三井物産プラントシステム(株) 小山俊一	13	
8	太陽光発電で走る鉄道(乗用模型)の製作と実験記録	多摩美術大学 亀谷崇樹、勝間ひでとし 東京電機大学 鈴木源治	15	
9	国内初のEV/pHVタクシーの評価	長岡技術科学大学 齋藤和夫	17	
10	営業用EV軽貨物トラック	長岡技術科学大学 齋藤和夫	19	

2. 各地域の取組みから

104教室、座長：竹内佑一、副座長：小田部明人

No	件 名	発 表 者	ページ	発表時刻
1	市民団体「おかやま自転車ネット」の試み ～自転車からまちづくりを考える～	おかやま自転車ネット 志野敏夫	21	原則 10:00 12:30 1件当り 質疑応答 を含め 約15分 詳細は 座長一任 11は 発表なし
2	吉備路自転車道とJR吉備線のLRT化で吉備路観光資源の活性化を	おかやま自転車ネット 金澤健吾	23	
3	バス停アダプト運動の展開と高松のバスマップ	(N)RACDA 松田和也	25	
4	瀬戸内国際芸術祭アクセスマップと事業連携	(N)RACDA 岡 将男	27	
5	吉備線LRT計画と合意形成	吉備線LRT部会 小早川寛	29	
6	横浜へのLRT導入で観光客は増大するのか? ～羽田空港国際化と横浜駅周辺大改造計画～	(N)横浜にLRTを走らせる会 小田部明人、清水康二	31	
7	阪堺電気軌道堺市内区間 存続運動の経緯と現況	阪堺線存続検討ワーキンググループ 工藤寛之	33	
8	滋賀県草津市の交通空白地域の解消にむけて 「まめバス」の実証運行の取組み	運輸評論家 堀内重人	35	
9	鉄道廃止が表出したリスク 島原半島における「地域再生」の再検討を中心として	東京大学大学院 宝田惇史	37	
10	新しい都市環境を創出するLRTの市民権獲得のために LRTハンドブックQ&Aの刊行	さいたま市の環境と公共交通システム研究会 石原猛男	39	
11	「歩くまち・京都」総合交通戦略の策定・推進	京都市 都市計画局 歩くまち京都推進室 田中 均	41	

3. 最新海外事情

101教室、座長：古川 洋、副座長：服部重敬

No	件 名	発 表 者	ページ	発表時刻
1	フランスにおける共同体のやさしい移動空間整備	(株)アンジェロセック 古川 洋	43	原則 10:00 12:30 1件当り 質疑応答 を含め 約15分 詳細は 座長一任
2	フランス人技師が発想する岡山LRT	(株)アンジェロセック ジャンピエール・ラガリュ	45	
3	クレルモン・フェランのトラムについて	(株)アンジェロセック フランク・シャルメゾン	47	
4	パリ圏新設トラム4線について	(株)アンジェロセック シモン・グレヴェ	49	
5	米国におけるストリートカーの整備	都市交通研究家 服部重敬	51	
6	LRT導入都市における住民意識調査について ～アンケートの結果より～	(株)モチバート 森 五宏、南 聡一郎	53	
7	ゴムタイヤトラム・経済性の比較について	(株)モチバート 森 五宏、南 聡一郎	55	
8	通勤費負担に関する日仏比較考察	(財)運輸調査局 板谷和也	57	
9	モビリティウィーク&カーフリーデーのとりくみについて	カーフリーデージャパン 谷本文子	59	
10	現存するプレ・メトロとLRT導入の考察	さいたま市の環境と公共交通システム研究会 小山 徹	61	

4. 交通政策の分析・提言

201教室、座長：堀 達哉、副座長：塚本 敬

No	件名	発表者	ページ	発表時刻
1	LRTはなぜ拡がらないのか 地方財源の面から考える	(N)RACDA / 岡山弁護士会 光成卓明	63	原則 10:00 12:30 1件当り 質疑応答 を含め 約15分 詳細は 座長一任
2	交通権の足下を固める、交通自治権という概念の提案 交通基本法の骨格を支え、地域交通計画づくりを現実なものにする生活自治の一領域	岐阜未来研究団 堀 達哉	65	
3	地域の公共交通ワークショップのあり方提案と実践 公共交通とは何か、から始める地域の交通に対する理解醸成と参画のワークショップ	(N)まちづくり千葉 堀 達哉	67	
4	地域の公共交通計画づくりの会議と場をいかに整えるか 実のある成果を得る為の巻き込みと場づくりへの考察	岐阜未来研究団 堀 達哉	69	
5	鉄道と地域双方の再活性化をめざした岐阜新鉄道計画の増客策 地域を7分節することによる、生活者利便を重視した地区密着の需要づくり	岐阜地区新鉄道設立準備室 堀 達哉	71	
6	地方自治体における戦略的都市交通施策の実行可能性に関する考察 全国自治体の交通施策担当者へのアンケート調査を通じて	広島工業大学 伊藤 雅、青山吉隆 立命館大学 大西 学	73	
7	地方自治体のバス交通関与とその課題 行財政の視点からみた「地域主権」論の課題	法政大学大学院 政策科学専攻 塚本 敬	75	
8	地方都市におけるバスの将来需要予測	ET計画舎 戸村忠弘	77	
9	都営交通100周年を契機とした、100円運賃や共通運賃化 への提案	都電網研究会 坂本進吾	79	
10	道路交通量減少・低炭素要請強化時代に対応した交通体系 デザインの方角性	東京電力(株) 技術開発研究所 青木 仁	81	

5. 環境・景観・交通まちづくり

202教室、座長：室田篤利、副座長：佐野 正

No	件名	発表者	ページ	発表時刻
1	自治体の「交通事故死ゼロ宣言」への提言	AREEV 内田敬之	83	原則 10:00 12:30 1件当り 質疑応答 を含め 約15分 詳細は 座長一任
2	地場産業活性化をめざす改造型電気自動車普及計画 「エコカーへ転換」への政策案	AREEV 内田敬之	85	
3	次世代交通としての舟運の提案	AREEV 内田敬之	87	
4	EV船デザインの可能性	sano design office 佐野 正	89	
5	墨田区における自転車走行空間の検討	松本デザイン機構(有) 松本正毅	91	
6	LRT大型模型の製作を通して	多摩美術大学 LRT研究G かわさきまさみち、みうらまこと、かめやたかき、かつまひでとし	93	
7	路面電車の軌道延伸がもたらす交通・環境への影響の評価	東京大学大学院 工学系研究科 藤井秀樹、吉村 忍、内田英明	95	
8	交通と観光におけるユニバーサルデザイン	エム・アール・アイ リサーチアソシエイツ(株) 室田篤利	97	
9	LRTなど軌道系都市公共交通のオプション価値測定と その意義	長岡技術科学大学 松本昌二、川端光昭	99	
10	公共機関利用促進を促す地域活性化環境プラットフォーム 構築	東京農工大学 野地英昭、中山政行、林 和希、十河直人、亀山秀雄	101	

付 録

まちづくりのソフト 宇都宮浄人(交通新聞7月5日「交通評論」より転載) 103

成長戦略と地域交通 北村秀哉(交通新聞8月16日「交通評論」の一部を変更して転載)・ 104

日本経済新聞連載「新時代の公共交通」紹介 板谷和也 105

全国のLRT検討状況 RACDA調査 107

交通基本法案 109

新交通システム(LRT)推進議員連盟名簿 113

『国土交通』2010.6-2010.7 特集「交通ルネッサンスはじまる」 ウラから1